

メールマガジン 埼玉県議会



発行：埼玉県議会



No.366 2022.1.14

県議会テレビ番組「こんにちは県議会です」
1月1日(土・祝)放送 特別番組「新春インタビュー」
(梅澤佳一 議長・岡地 優 副議長)

皆さまいかがお過ごしでしょうか。
県議会広報テレビ番組「こんにちは県議会です」(テレビ埼玉)では、各定例会の様式や各委員会委員長のインタビューなど県議会に関するさまざまな情報を放送しています。
今号のメールマガジンでは、1月1日(土・祝)に放送した特別番組「新春インタビュー」(梅澤議長・岡地副議長)の内容をお伝えします。
司会進行は、テレビ埼玉の荒木優里アナウンサーです。



[☆放送スケジュールなど詳しくは、県議会のホームページをご覧ください。>](#)

INDEX



県議会広報

テレビ番組「こんにちは県議会です」特別番組「新春インタビュー」
・梅澤佳一 議長
・岡地 優 副議長



議事堂の花

生け花のご紹介



県議会広報

【こんにちは県議会です 特別番組「新春インタビュー」】



〈梅澤佳一 議長〉

昭和29年生まれの67歳
埼玉県議会自由民主党議員団所属
東第4区 久喜市選出
平成15年、県議会議員に初当選（現在4期目）
福祉保健医療委員長、自然再生・循環社会対策特別委員長、議会運営委員長などの要職を歴任
昨年10月、埼玉県議会議長に就任

議長 県民の皆さま、明けましておめでとうございます。

第125代埼玉県議会議長の梅澤佳一でございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。



—まずは、議長就任に当たっての抱負をお聞かせください。—

議長 歴史と伝統のある埼玉県議会の議長という職責の重さに身が引き締まる思いです。新型コロナウイルス感染症や今後加速する少子高齢化、年々激甚化している自然災害など、さまざまな課題に対応して、県民一人ひとりが将来に夢と希望を描けるような埼玉県を築いていくことが私たちの使命であると考えております。県議会としてその役割と責務を果たせるよう、これまで培った経験を生かして全力で取り組んでまいります。

—就任されて2カ月あまりが経ちましたが、どのような感想をお持ちですか。—

議長 県議会を代表してさまざまな行事に出席するなど、日々緊張感を持って過ごしております。

そして、いろいろな考え方を持つ会派がある中、大きな視点から公正で公平な議会運営に努めていかなくてはと気を引き締めております。

—議長は、どのようなことがきっかけで政治家を志したのですか。—

議長 私は若いころから、栗橋町、現在の久喜市で代々続く野菜・果物の卸売と小売をやっていて、20歳くらいから商工会の青年部に入っていました。本をただせば、政治家を志すきっかけは、そこにあると思っています。“このまちをいいまちにしていかなければ自分たちの将来もない、だからみんなでこのまちを盛り上げていこうよ”ということで、お祭りやイベントなどいろんなことをやっていました。「このまちに生まれ、このまちに育ち、このまちに生きる。このまち大好き」というフレーズは私の信念と言ってもいいくらいです。

—地元への愛着が深かったんですね。—

議長 そういった活動をしていると、だんだんと町長選挙など選挙に駆り出されていくんですね。私も地域を変えていくには政治もひとつの手段と徐々に思えるようになってきました。私が43才の時、周囲から「これからは若い力で」という声に押されて、町議会議員選挙に立候補いたしました。



—県議会議員になられてから、これまでいろいろなお仕事に取り組みされてきたと思いますが、特に印象に残っていることはありますか。—

議長 いろいろありますが、平成16年から始まった利根川の堤防強化対策は特に印象に残っています。ご存じのとおり、利根川は過去に台風で大きな浸水被害が発生したこともあって、地元のみならず首都圏全体にとっても、その強化対策は重要です。私は、県議会議員として、その整備手法などについて、地元住民や国と協議を重ね、地元の意見や要望も反映しながら事業が進むよう尽力をしてまいりました。いよいよ令和5年度末に完成する予定です。利根川の決壊を防ぎ、県民の命や暮らしを守る。その計画が実りつつあることをうれしく思っています。

—それでは続いて、座右の銘、あるいは大切にしていることを教えてください。—

議長 私は「夢は力」という言葉をいつも掲げております。夢や希望を持つことは、生きがいにかかわる核心であり、自分自身に生きる勇気を与えてくれます。それと同時に、夢を実現させるためには仲間の力が必要です。いろいろな力を集めることで夢というものは実現するのだと思います。県民の皆さまの希望を実現するために、これからもひたむきに努力を重ねていきたいと考えています。



—さて、議長にとって昨年はどうのような1年でしたか。—

議長 一昨年に続いて新型コロナウイルスへの対応を最優先に、感染防止対策と経済社会活動の両立という、困難な課題に立ち向かった1年でありました。年4回の定例会に加えて、計8回の臨時会が開かれました。これははじめての経験です。コロナ対策の関係では幾度も補正予算が組まれ、その規模もかなり大きいものでした。

—まさに異例の年でしたよね。—

議長 そうですね。そうした中でも、東京2020オリンピック・パラリンピックが開催され、戦うアスリートの姿には非常に心を打たれました。画面を通して、世界中の人に夢や力を与えてくれた。本県が会場となったゴルフやバスケットボールでは史上初のメダル獲得となったこともうれしいニュースでした。また、オリンピック・パラリンピックの話からはずれませんが、深谷市出身の偉人・渋沢栄一翁が主人公の大河ドラマの放映などは、私たちにワクワク感や力を与えてくれた出来事の一つかなと感じています。

—議長としてお仕事に臨まれた中で、印象に残っていることはありますか。—

議長 そうですね。就任してまだ日が浅いですが、埼玉県議会の代表として、多くの行事や会議に出席しております。中でも、各都道府県議会の議長をメンバーとする議長会で、地域の発展に向けてさまざまな意見交換を行ったことは印象に残っています。また、昨年は埼玉県が誕生して150周年の節目の年で、その記念式典に参加いたしました。この長い歴史の中で、先人たちが幾多の困難を克服し、埼玉県を発展させてきたことを思うと感慨深い気持ちになります。県議会として、これまで築き上げた魅力と活力にあふれる郷土埼玉をさらに発展させ、未来へつないでいかなければと決意を新たにしているところです。



—では、年頭にあたって、抱負と決意をお聞かせください。—

議長 今年の4月から、県政運営の基礎となる新たな「埼玉県5か年計画」がスタートします。

この策定に当たっては、県議会として積極的な討議を行い、12月定例会で採決いたしました。

そして、この計画がスタートしたら、しっかりと実行されているか、議会が持つ監視機能を十分に果たしてまいりたいと思います。

また、令和4年は新型コロナウイルスへの対応も含めて、みんなが安心して生活ができる、その基をつくっていく年にしていきたいと考えています。多様化する県民の声に真摯に耳を傾け、政策を提案し、734万県民の負託に十分に応えられるよう取り組んでまいります。

活力ある埼玉県の実現のため、二元代表制の一翼を担う県議会の代表として、公正・公平で、円滑な議会運営に努めてまいります。今後ともより一層のご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

〈岡地 優 副議長〉

[\(経歴等はNo.349号をご覧ください。\)](#)

副議長 あけましておめでとうございます。
副議長の岡地優でございます。
本年もよろしくお願いいたします。



—さて、副議長として昨年を振り返ってみて、どんな1年でしたか。—

副議長 一昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症への対応を最優先に取り組んだ1年でした。そうした中、社会全体でデジタル化の流れが加速したことは象徴的な出来事だったと思います。議会においても大規模災害時などにオンラインで委員会を開催できるよう議会改革を進めてまいりました。

—議会改革、ですか。—

副議長 県議会も、社会のさまざまな変化に合わせて変わっていく必要があると思います。オンライン委員会以外にも、ペーパーレス化の推進や本会議での手話通訳の導入などが進められました。また、2月定例会の一般質問から従来の一括質問・一括答弁式に加えて一問一答式が選択できるようになり、議会審議が一層充実してきたと感じています。

—昨年は、東京オリンピック・パラリンピックが開催されましたね。—

副議長 新型コロナの影響で公道での聖火リレーが一部中止になったり、無観客での開催となったことは残念でしたが、選手が自らの可能性や限界に挑み躍動する姿は、世界中の人々に希望を与えてくれました。聖火の到着を祝うセレブレーションには私も出席しましたが、たくさんの方々の思いが繋がれた聖火を目にしたときはとても感動しました。



—最後に、今後の抱負をお聞かせください。—

副議長 新型コロナに打ち勝つ1年になるよう県議会としても注力したいと思っております。経済が活性化し、県民の皆さまが安心して暮らせる埼玉県とすべく、梅澤議長をサポートしながら議会運営に全力を尽くしてまいります。引き続き、県議会に対するご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

❁ 議事堂の花

このコーナーでは、議事堂ホールに飾られた生け花をご紹介します。
【協力 埼玉県いけばな連合会】



◆展示期間
11月15日～11月19日
◆作者
龍生派
田村雅松様
◆花材
サンゴミズキ、シノブヒバ、百合、オンシジューム、ヒペリカム



◆展示期間
11月22日～11月26日
◆作者
池坊
青木孝雄様
◆花材
白檜曾(シラビソ)、ツルウメモドキ、オトギリソウ、メラレウカ、いぶき、つつじ、中菊・小菊、タマシダ、曝木(シャレボク)

◇◆生け花の作者の方にお聞きしました！◆◇



〈龍生派 田村雅松様〉

Q: 色鮮やかな生け花ですね。どのようなテーマで生けたのでしょうか。

A: クリスマスをイメージしました。赤、緑、白の花を生けクリスマスカラーにしました。

Q: 生け花のどんなところに注目してほしいですか。

A: クリスマスを感じてほしいですね。これからクリスマスという楽しいイベントがありますから、コロナに負けず、明るい気持ちになってくれたらうれしいです。



〈池坊 青木孝雄様〉

Q:とても立派な生け花ですね。テーマは何でしょうか。

A:テーマは晩秋ですね。晩秋の自然の風景や街、水の流れを表しています。

Q:観賞する方には、どんなことを感じてほしいですか。

A:全体を見て自然の風景を感じてほしいですね。私も自然の風景を想像しながら生けています。

☆現在展示中の作品や過去の展示作品は、県議会ホームページでご覧になれます。》

[▲トップへ](#)

【注意】

●メールマガジンにおいて氏名の一部にJIS規格第1・第2水準にない文字がある場合、第1・第2水準の漢字で表記しています。

【お問い合わせ】

●「メールマガジン埼玉県議会」の登録・解除はこちらから》

※登録事項(メールアドレスなど)を変更する場合には、お手数ですが、変更前のメールアドレスを一度解除してから新規に登録してください。

●「メールマガジン埼玉県議会」についてのお問い合わせ・感想はこちらまで！

E-mail a6250-03@pref.saitama.lg.jp

埼玉県議会事務局政策調査課

〒330-9301 さいたま市浦和区高砂3-15-1 電話 048-830-6257/FAX 048-830-4923

